

週間感染症情報

2018年17～18週 2018年4月23日より2018年5月6日まで

17週 18週

麻疹		
風疹		
水痘(みずぼうそう)	4	
ムンプス(おたふくかぜ)		
百日咳	3	
溶連菌感染症	9	1
手足口病	1	
ヘルパンギーナ	2	
伝染性紅斑		
感染性胃腸炎	55	12
ロタウイルス(再掲)	8	
便アデノウイルス(再掲)	2	
突発性発疹	2	
伝染性膿痂疹(とびひ)	5	
ヘルペス性口内炎	1	
アデノウイルス感染症	4	1
RSウイルス感染症		
マイコプラズマ感染症		
インフルエンザ(臨床診断含む)	6	1
インフルエンザA	4	
インフルエンザB	2	1
ヒトメタニューモウイルス		

遅くなりましたが、17-18週の2週分の報告です。

5月6日(日)当番医でした。小児科42人、内科25人 合計 67人でした。

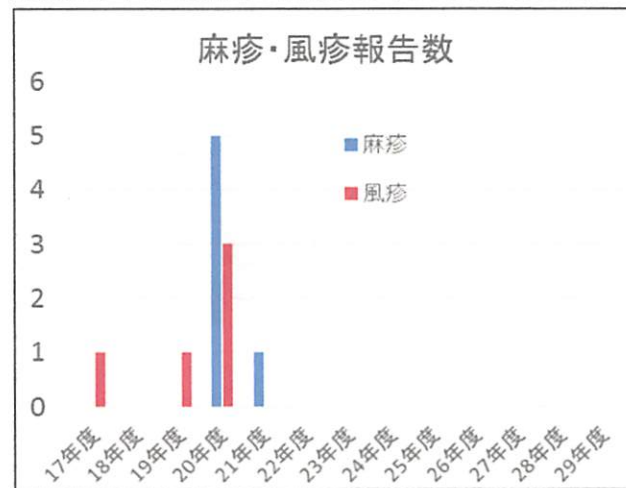
インフルエンザの報告は少なくなりました。感染源不明の報告例もありますので、まだ 注意が必要です。

17週の百日咳は、市内の中学3年と2年、小学5年でいずれもLAMP法で陽性でした。乳児が百日咳に罹患すると重症になります。3ヶ月になったらすぐに四種混合をワクチンを接種しましょう。

感染性胃腸炎が増加しています。春に流行するロタウイルス胃腸炎の報告が増えています。ワクチン内服例もり患しますが、軽症の例が多いです。焼肉関連のカンピロバクター腸炎が1例ありました。

右下のグラフは、H17年度からの、麻疹・風疹報告数です。H19年度の若者世代の麻疹の流行を受けて、1回接種の世代の救済措置として、H20～24年度まで第3期(中学生1年生)と第4期(高校生3年生)の定期接種が実施されました。20年度の麻疹患者の5名は、ワクチン未接種や1回接種の高校生や大学生でした。この期間の総社市のワクチン接種率は、3期は96%前後、4期は90%前後と、かなり高かったです。

麻疹は、ワクチンを2回接種する事により発症を抑えることができます。また、ワクチン接種率を95%以上に保つ事により、流行を抑えることができワクチンを接種できない0歳児やワクチン接種ができない人を守る事ができます。沖縄の麻疹が話題になっていますが、世界の麻疹による死者は2016年で9万人と推定されています。麻疹はワクチンで予防できる病気です。特に30～40代の方はぜひMRワクチン(麻しん・風しん)を接種してください。



(感染情報については当院のホームページでもご覧になれます。 <http://miyaiinsoja.webmedipr.jp/>)

三宅内科小児科医院 三宅真砂子